

# 施策評価管理シート

2013(平成25)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
教育委員会事務局	中野 伸宏	63-7892(文化生涯学習室)

施策体系	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成

## 1. 施策の基本方針 Plan

- ・家庭、地域、学校が連携して青少年の健全育成に取り組むことのできる環境づくりに努めます。
- ・青少年の自主的な活動や交流を支援するとともに、非行防止活動や相談体制を充実するなど、健全育成の環境づくりに取り組みます。

## 2. 目標

### 重点目標 Plan

- ・市民主体の青少年活動を積極的に支援・育成するとともに、多様な地域や世代の人々との幅広い連携を図ることにより、青少年の文化・スポーツ・レクリエーション活動を促進します。
- ・青少年ボランティアや指導者の育成を図り、青少年の社会参加活動に取り組みます。
- ・地域ぐるみで家庭教育を推進する体制を整備します。
- ・青少年補導センターを中心に、関係機関の連携を密にし青少年の健全育成を推進します。
- ・青少年育成市民会議や青少年育成推進員を中心に、学校や関係機関の連携を強化し健全育成の環境づくりに取り組みます。

### 目標達成に向けた課題 Plan

- ・各事業とも学校・地域づくり組織・各団体との連携の必要性がますます大きくなっています。
- ・放課後子ども支援事業では、子どもが地域社会の一員であることを自覚し、自然活動や文化活動等を体験する場として事業が行われていますが、実施に係る企画や準備に携わるボランティアの負担が大きくなり後継者不足が懸念されます。

<行政評価委員会からの意見>  
意見なし

### 施策指標(目標)及び達成状況 Plan Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
初発型非行数 (件)	目標	-	-	-	-	70	60	
	成果	77	55	22	20	22		100%
青少年ボランティア数 (人)	目標	-	-	-	-	50	56	
	成果	47	55	57	57	60		100%
放課後子ども教室実施回数【延べ値】 (回)	目標	-	-	-	-	488	1,100	
	成果	22	88	146	201	280		24%
青少年の健全な育成に向けた取組が行われていると感ずる市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	-	45.0	
	成果	-	-	-	39.1	42.6		H25取組分より評価対象

新規設定

3. 取組内容

課題解決への取組内容

*D o*

・多様な市民団体、社会教育団体、学校、地域、関係機関等が連携を図り、青少年育成市民会議を中心として、非行防止や安全見守りのための街頭パトロールの実施、子どものさまざまな体験を通して、学び、交流し健全育成を図るなんでも体験団の実施、指導者研修会や教育フォーラムの実施など、青少年の健全育成に取り組みました。  
 ・放課後子ども教室事業では、企画段階から情報交換などに努め、さまざまな活動を通して子どもの放課後活動を支援しました。

< 行政評価委員会からの意見に対する取組内容 >  
 意見なし

地域等との連携、協働に向けた取組

*D o*

・子どもたちが、登下校時等に危険な状況に遭った場合に一時避難をさせていただく「子どもを守る家」の取組を地域、地域住民の協力により実施しています。  
 ・放課後子ども支援事業は、地域づくり組織が主体となり取り組んでいる事業です。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 4 事業)

*D o*

*C h e c k*

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)			担当室による評価			部局による評価	
			2011 (H23)	2012 (H24)	事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度	
1161	放課後子ども支援事業	文化生涯学習室	776	592	B	実践している	継続 (拡大)	B	B	
1170	成人式行事経費	文化生涯学習室	508	480	B	検討している、今後可能性がある	継続 (現行)	B	B	
1171	青少年健全育成事業	文化生涯学習室	482	524	B	実践している	継続 (現行)	B	A	
3078	青少年健全育成事業補助金	文化生涯学習室	206	228	B	実践している	継続 (現行)	B	B	
合計 (単位：千円)			1,972	1,824						
小計 (うち、一般会計分)			1,972	1,824						
小計 (うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0						

5. 部局による施策評価

*C h e c k*

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
・青少年健全育成事業は、青少年育成市民会議の活動が年々充実しており、今後も関係団体・関係機関との連携を維持しながら、事業を継続していくことが必要です。"最小の経費で最大の効果"に近い、コストパフォーマンスの高い成果が上げられているのは、市民、市民団体等のボランティアによるところが大であります。 ・放課後子ども教室事業については、国・県補助要綱に捉われず、多くの地域で実施されている子ども対象事業を取り込めるよう要綱の見直しを図りました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

*A c t i o n*

・量や回数にとらわれることなく、質を重視した取り組み内容を検討しながら、今後とも地域、市民団体と協働して事業を実施していきます。  
 ・放課後子ども教室事業は、ボランティアの後継者不足が懸念されますことから、さらなる見直しを図ることが必要です。また地域の取組メニューを増やしていくことができるよう支援していきます。

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他 (意見)